

所在地	和歌山県有田郡有田川町
-----	-------------

選定名称	蘭島及び三田・清水の農山村景観	
	仮訳	Aragijima Rice Terraces and Rural Mountain Village Landscape of Mita/Shimizu

■ 文化的景観の区域・面積

	区域	面積 (ha)
選定年月日 平成 25 年 10 月 17 日	和歌山県有田郡有田川町大字清水、有田川町大字三田、二級河川有田川、二級河川湯川川、二級河川宮川谷川の各一部	110.7
追加選定年月日		

■ 重要文化的景観選定基準

1	●
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	●
9	
10	
二	●

■ 景観法に基づく措置

景観条例	施行年月日	平成 24 年 11 月 1 日
	条例名称	有田川町景観条例
景観計画	策定年月日	平成 25 年 1 月 31 日
	計画名称	有田川町景観計画

■ その他文化的景観に係る措置

各種条例	施行年月日	平成 26 年 3 月 28 日
	条例名称	有田川町重要文化的景観整備事業受益者分担金徴収条例
各種計画①	策定年月日	
	計画名称	
各種計画②	策定年月日	
	計画名称	

■ 報告書・計画書

価値調査報告書・保存計画書	書名	蘭島及び三田・清水の農山村景観保存計画
	刊行年月	2013 年 3 月
	刊行	有田川町教育委員会
CiNii	編集協力	
	書名	
	刊行年月	
整備計画書	刊行	
	編集協力	
	書名	
	刊行年月	
	刊行	
	編集協力	
	書名	
	刊行年月	
	刊行	
	編集協力	
	書名	
	刊行年月	
	刊行	
	編集協力	

■ 位置



■ その他

ウェブサイト	有田川町ウェブサイト <a href="#">website</a>
備考	

選定名称

蘭島及び三田・清水の農山村景観

仮訳

Aragijima Rice Terraces and Rural Mountain Village Landscape of Mita/Shimizu

## ■選定説明

月刊文化財

600号

高野山系に水源をもつ有田川は、穿入蛇行により独特の地形を形成しながら、和歌山県中北部を西流し、紀伊水道に流入する。その上流部に位置する三田・清水は、有田川が形成した河岸段丘に展開する農村集落である。集落では、有田川の支流である湯川から導いた水を用いて、平坦面における稲作を中心とした生業が営まれている。中でも、大きく屈曲する有田川によって形成された蘭島では、整った対称をなす扇形の段丘地形において棚田耕作が行われており、審美的な価値も高い。また、耕地に限られる当地では、畦畔や集落の後背斜面地等も山畑に利用され、シュロ・チャノキ・サンシヨウなど特徴的な植生がみられる。特に、ヒメコウゾから生産される和紙は保田紙として著名で、かつては和傘の材料として、内海（海南市）などの都市部へ移出された。

高野参詣道の途上に位置する当地は、長久3年（1042）の高野山文書に記載されるなど、早くから集落が営まれていたと考えられる。中世には、本家円満院（三井寺）、領家寂楽寺（白川喜多院）、地頭湯浅党が統治する荘園（阿豆河荘）であったことが、建治元年（1275）に作成された国宝『阿豆河荘上村百姓等片仮名書申状』等によって知られている。

現在に至る土地利用の在り方の基盤が形成されたのは、近世期である。17世紀から18世紀初頭にかけての当地における耕地開発・集落整備を遂行したのが、山保田組の初代大庄屋であった笠松左太夫（1596～1673）であった。笠松は、明暦元年（1655）に湯川に井堰を設けて灌漑水路「上湯」を開削し、蘭島における水田耕作を可能にしたほか、保田紙の生産を専業とする小峠集落等を開いた。

当地では、水田への用水路は「湯」と呼ばれる。それぞれの湯では「田人」と呼ばれる水利組合が組織され、田人親のもとで水路の維持管理が行われた。また、「湯山」と呼ばれる共有林を保有し、木材を切り出して柴堰の補修を行ったり、木材を売却して田人の運営費にあてたりした。現在も、水利組合長である「部頭」のもと、「水守」を定め、水路の補修・清掃・管理を共同で行っている。また、田への水入れや水落としの日取りも田人ごとに定めるなど、伝統的な水利慣行が継承されている。

当地における集落形態は、水との関係によって規定される。谷水が豊富で利水しやすい三田集落では家屋が散在するのに対し、湧水を水源とする西原集落では家屋が密集する。それぞれの民家は、もともと降雨が多い当地に適合した急傾斜の茅葺屋根を有しており、狭小な敷地に適応した分棟形式の建物配置となっている。山を背にした主屋の両側に、付属屋として納屋・土蔵・紙漉小屋等が配される。主屋・付属屋によって囲まれた空間は、農作業場のほか、コウゾの堆積や紙干し場として利用されるなど、生業に密接した居住空間が構成されている。さらに、「亥の子」などの農耕儀礼をはじめ、イタドリの枯柴を道の辻に積み上げて焚くことによって邪気・邪霊を追い払い、無病息災を願う「鬼追いドンド」の節分行事など、年中行事が現在も数多く継承されている。

このように、三田・清水では、有田川の河岸段丘地形において稲作が行われるほか、保田紙の生産など特徴的な生業が営まれてきた。こうした生業の在り方は居住地の空間構造に反映されており、独特の文化的景観を形成していることから、この地域における生活・生業を理解する上で欠くことができない景観地として、重要文化的景観に選定し、保存・活用を図るものである。

所在地	和歌山県有田郡有田川町
-----	-------------

選定名称	蘭島及び三田・清水の農山村景観
仮訳	Aragijima Rice Terraces and Rural Mountain Village Landscape of Mita/Shimizu

■ 価値調査報告書・保存計画書目次

書名	蘭島及び三田・清水の農山村景観保存計画	
刊行年月	2013年3月	
刊行	有田川町教育委員会	
編集協力		
目次	第1部 保存調査	
	第1章 保存調査の目的と沿革	第1節 保存調査にいたる経過 第2節 事業の結果と保存調査の検討体制 第3節 有田川町と清水地区の概要 第4節 蘭島及び周辺地域の概要
	第2章 蘭島と周辺地域の自然環境	第1節 有地形・地質学的調査 第2節 植物相 第3節 動物相
	第3章 蘭島の棚田と周辺の歴史的変遷	第1節 古代・中世 第2節 近世 第3節 災害と文化的景観
	第4章 生業と民俗	第1節 概説 第2節 有田川町清水地区の生業空間の変遷 第3節 近世の生業複合と保田紙 第4節 清水地区の年中行事
	第5章 景観の構造とその特性	第1節 土地利用と景観の変遷 第2節 景観の特性 第3節 景観認知の特性 第4節 集落空間の構成 第5節 蘭島を中心とする有田川中流域に残存する民家の特性
	第6章 景観保全とまちづくりの方向性	第1節 景観保全とその意義 第2節 地域農業の実態と景観保全のための組織、手段
	第7章 文化的景観の価値と特性	第1節 文化的景観の特性 第2節 文化的景観の本質的価値
	Ⅱ部	
	第1章 文化的景観の位置及び範囲	(1) 計画の目的 (2) 検討体制と計画策定の経過 (3) 有田川町景観計画 (4) 重要文化的景観の区域
	第2章 文化的景観の保存に関する方針	(1) 基本方針 (2) 地区単位ごとの保存方針
	第3章 土地利用に関する事項	(1) 既存の法令と広域性 (2) 景観計画による行為の規制 (3) 現状変更等の取り扱い基準
	第4章 文化的景観の整備活用	(1) 基本方針 (2) 既存の活用の取り組み (3) 今後の具体的施策
	第5章 保存管理運営体制	(1) 基本方針 (2) 住民の体制 (3) 行政の体制 (4) 支援体制
	第6章 文化的景観における重要な構成要素	

選定名称

蘭島及び三田・清水の農山村景観

仮訳

Aragijima Rice Terraces and Rural Mountain Village Landscape of Mita/Shimizu

## ■重要な家屋一覧

種別	員数	所在地	告示日
和歌山県有田郡有田川町			
主屋	1棟	三田 291 番地 1	平成 26.3.26
付属屋	1棟	三田 291 番地 1	平成 26.3.26
主屋	1棟	清水 144 番地 3	平成 26.3.26
土蔵	1棟	清水 144 番地 3	平成 26.3.26
長屋	1棟	清水 144 番地 3	平成 26.3.26
貯蔵小屋	1棟	清水 144 番地 3	平成 26.3.26
主屋	1棟	清水 1908 番地	平成 26.3.26
土蔵	1棟	清水 1908 番地	平成 26.3.26
納屋	1棟	清水 1908 番地	平成 26.3.26
長屋	1棟	清水 1908 番地	平成 26.3.26
主屋	1棟	三田 375 番地 6	平成 26.3.26